

沖縄「復帰」50年特別企画

Imperial Festival:



World Expositions

帝国の祭典 and 万国博覧会と〈人間の展示〉

Human Exhibitions

2022.9.23 FRI・祝 —— 11.6 SUN

11:00—19:00 会場 那覇文化芸術劇場なはーと / 小スタジオ

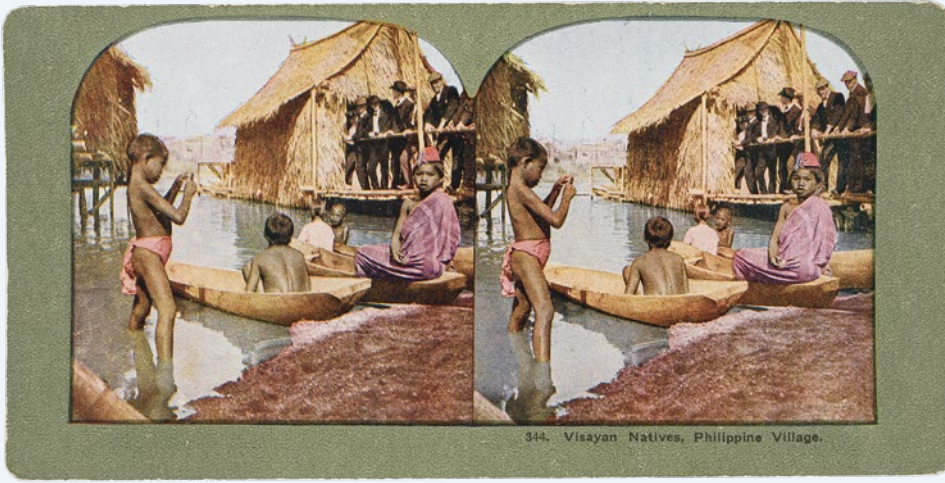
休館日 第1・3月曜日 料金 無料

主催 那覇市 企画制作 那覇文化芸術劇場なはーと キュレーション 小原真史

お問い合わせ: 那覇文化芸術劇場なはーと 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27 Tel. 098-861-7810 www.nahart.jp

那覇文化芸術劇場なはーと
NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHART

万博から
人類館へ



「ヴィサヤ族、フィリピン村」(セントルイス万博、1904年)



「クラオ、ミッシング・リンク」1887年

沖縄「復帰」50年特別企画

帝国の祭典 博覧会と〈人間の展示〉

Imperial Festival: World Expositions and Human Exhibitions

2022.9.23 FRI・祝 —— 11.6 SUN

11:00—19:00 休館日 第1・3月曜日 料金 無料

会場 那覇文化芸術劇場なはーと / 小スタジオ

関連イベント なはーと公式HPにてご確認ください



「一日で世界一周」(パリ国際植民地博、1931年)

那覇文化芸術劇場なはーとでは、沖縄「復帰」50年特別企画として、「帝国の祭典——博覧会と〈人間の展示〉」を開催いたします。

19世紀中頃から20世紀初頭は、「博覧会の時代」と呼べるほど世界中で多くの万国博や植民地博が開催されました。博覧会は展示された産業製品を通じて新たな世界認識を得る場として機能し、大衆に明るい未来を幻視させましたが、博覧会場には、植民地や非西洋諸国の集落を再現してその生活の様子を見せる〈人間の展示〉も行われていました。

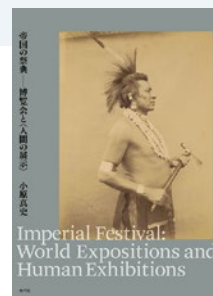
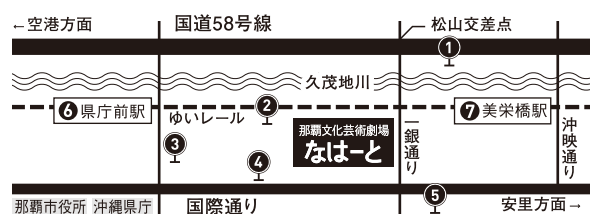
19世紀末に帝国主義国として船出した日本でも西洋の博覧会に倣い、1903年の第五回内国勲業博覧会で「学術人類館」という〈人間の展示〉施設が民間の業者によって作られ、その後の博覧会でも同様の展示を行います。これらは日本が東アジアに版図を広げていく時代の〈日本人〉の境界に関わる展示と言えるものでした。

本展ではキュレーターの小原真史のプライベートコレクションを中心に博覧会と〈人間の展示〉に関わる数百点の資料を展示し、グローバリズムやレイシズム、コロニアリズムなど現代と地続きのさまざまな問題について探ります。

那覇文化芸術劇場なはーと

NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHART

沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27 tel.098-861-7810



[展覧会関連書籍]

小原真史 著

『帝国の祭典——博覧会と〈人間の展示〉』

(水声社)

B5判変型並製 / 120頁

2022年10月上旬刊行予定

ISBN978-4-8010-0661-4 C0070

- | | |
|-----------------|--------------|
| バス | モノレール |
| ① 若松入口 徒歩約6分 | ④ 県庁前駅 徒歩約6分 |
| ② 久茂地公民館前 徒歩約2分 | ⑤ 美栄橋駅 徒歩約6分 |
| ③ 沖銀本店前 徒歩約6分 | |

※駐車場は関係者専用となりますので公共交通機関をご利用ください